



友の会 だより

第315号

令和8年1月1日発行



謹賀新年



明けましておめでとうございます。

2026年の干支は、十二支の七番目の「午」です。古くから馬は、人々の生活や文化に密接に関わり、勢いよく駆けるその姿から、前身や飛躍、活力の象徴とされてきました。また、神社に奉納される「絵馬」は、馬が神の使いとされていたことに由来します。願いを馬に乗せて届けるという信仰から始まったといい、今でも多くの人々が初詣で絵馬を奉納します。

2026年は“豊田イヤー”。秀吉・秀長にもゆかりの深い馬にちなみ、長浜城歴史博物館友の会活動が、「駆け抜ける馬」のように、活気あふれる一年となりますように。



松崎長蔵引札 諸地金細工所 并二直し物 明治時代

坂田郡長浜町字三ツ矢（現在の長浜市三ツ矢町）にあった地金細工所「鉦力長」こと松崎長蔵店の正月用引札です。

当世具足を身につけた武将が、日の丸扇を手にしながら、松の根に腰かける姿を描いています。武将の傍らには、「連銭葦毛（葦毛に灰色の丸い斑点が付いた毛並みのこと）」の馬が草を食み、その背景には波が打ち寄せる水辺が見えることから、画題は「明智左馬助湖水渡り」の一場面と考えられます。

明智光秀の重臣であった左馬助は、山崎合戦の敗報を受けて近江坂本へ向かう途中、愛馬の「大鹿毛」に乗ったまま琵琶湖に泳ぎ出たという逸話で知られ、浮世絵や歌舞伎の題材にもなりました。大津市には、今も「左馬助 駒止の松」が残っています。午年にふさわしい一枚といえるでしょう。

1

No.315
January 2026
CONTENTS

- 表紙 正月の引札
- 02 新年のご挨拶・友の会会長
" 長浜城歴史博物館館長
- 04 企画展「没後45年 宇治橋春年 - 山水花鳥、湖北を駆ける -」のご案内
- 06 「長浜観音堂高月別院 第4期展示」のご案内
- 07 れきはくNEWS 「12/2 歴史探究ハイク報告」
" 「11/23のろし駅伝・秋のお城まつり、11/27近江の城郭を語る10報告」
- 10 1月の長浜市内博物館・資料館の催し
- 12 1月行事予定

1 月行事予定



		2階	3階	時間	博物館友の会事業	
1	木	全館休館			全館休館	
2	金	令和7年 12/27~1/2				
3	土	企画展 没後45年 宇治橋春年 — 山水花鳥、湖北を駆ける —	北近江 豊臣博覧会関連 コーナー展示 「秀吉とめぐる人々」 ① 秀吉・秀長兄弟が仕えた 織田信長と織田家の人々			
4	日					
5	月					全館休館
6	火					
7	水			館内講座	13:30	展示解説講座 内容:企画展「宇治橋春年—山水花鳥、湖北を駆ける—」
8	木			館内講座	13:30	古文書講座(解読学習) 内容:「近江名所圖会」
9	金					賀正
10	土					
11	日					
12	月					
13	火					全館休館
14	水					
15	木			館内講座	13:30	古文書整理ボランティア 内容: 勝町福永家資料、宮前町柴田家文書、上坂五郎右衛門家文書
16	金					
17	土					
18	日					
19	月			全館休館		
20	火					
21	水					
22	木					
23	金					
24	土					
25	日					
26	月			全館休館		
27	火					
28	水		9:10	友の会発送ボランティア		
		館内講座	13:30	歴史文化講座 内容: 長浜の文化芸術史③		
29	木					
30	金					
31	土					

■ …友の会・長浜城他行事 ※館内講座(7、8、15、28日)の会場は、長浜城歴史博物館地階研修室です。